

プレスリリース

平成24年12月26日  
(独)農林漁業信用基金林業部門

## 林材業の業況動向調査(平成24年度下期)の結果について

農林漁業信用基金では、全国の林材業の短期的動向を把握し、林業信用保証制度の適切な運営に資することを目的として、昭和51年10月以降、上期(4月～9月)及び下期(10月～翌年3月)の状況を、継続的に調査実施しています。

今回は、平成24年度下期分として今年度12月に調査しましたので、調査結果を別添のとおりお知らせします。

お問い合わせ先  
林業管理室：山田  
長島  
TEL:03-3294-5581

# 林材業の業況動向調査結果の概要(要点) (平成24年度下期)

平成24年12月  
独立行政法人農林漁業信用基金

## (調査概要)

- 独立行政法人農林漁業信用基金が、業務参考資料として、年2回程度実施
- 今回は、平成24年12月時点での下期(24年10月～25年3月)の現況・見通し、24年度上期(24年4月～24年9月)の実績を調査。有効回答回収率は38.9%(有効回答企業191社。)
- 農林漁業信用基金HP(<http://www.affcf.com/>)に詳細情報を掲載

## (凡例)

- ・ DI : 動向指数(Diffusion Index)。プラス要因指数からマイナス要因指数を控除し算出
- ・ △●P : マイナス●ポイント
- ・ 前回(調査) : 平成24年6月に実施した本調査(平成24年度上期調査)

## 1 売上

売上(見通しDI(増加-減少))は△10P (前回より8P上昇。特に、「東海」以西で改善幅が著しい。)

## 2 資金繰り等

- (1) 資金繰り(見通しDI(好転-悪化))は△17P (前回より8P上昇。)
- (2) 借入金調達難易度(見通しDI(容易-困難))は△10P (前回より6P上昇。)
- (3) 借入金残高(見通しDI(増加-減少))は△16P (前回より5P下降。)
- (4) 短期借入金の金利(見通しDI(上昇-低下))は△2P (前回より2P下降。平均金利の実績は2.38%(前回より0.28%下降。))
- (5) 売上代金の回収状況及び仕入代金の決済状況では、
  - ① 売上代金の回収は、「全額現金」が増加し、それ以外は減少
  - ② 受取手形サイトは、「3ヵ月以上4ヵ月未満」が減少した以外は、横這いないしは増加
  - ③ 仕入代金の決済は、「全額現金」及び「手形50%超～80%未満」が増加し、それ以外は減少
  - ④ 支払手形のサイトは、「3ヵ月以上4ヵ月未満」が増加し、それ以外は減少

## 3 設備投資の意向

- (1) 設備投資(見通しDI(実施-不実施))は△34P (前回より2P上昇したが、投資意欲は依然低調。24年度上期に設備投資を実施した企業の割合は△53P。見通しDIより17P下降。)
- (2) 設備投資予定の目的(上位3項目)は、「老朽化に伴う設備の更新」(43%)、「コスト低減等の合理化」(20%)、「乾燥材の生産」(16%)

## 4 在庫量の見通し

- (1) 原木在庫量(見通しDI(過大-過小))は△9P (前回より5P下降。)
- (2) 製品在庫量(見通しDI(過大-過小))は7P (前回より9P下降。)

## 5 純利益

純利益(見通しDI(増加-減少))は△24P (前回より13P上昇。地域別では、前回調査に比べ、各地域の見通しDIは、「北陸」、「東海」で下回ったものの、全国的には上回った。)

## 6 木材価格の見通し

- (1) 原木価格(見通しDI(上昇-下落))は△17P (前回より12P上昇。)
- (2) 製品価格(見通しDI(上昇-下落))は△29P (前回より15P上昇。)

## 7 今後の経営の見通し他

- (1) 今後の経営(見通しDI(楽-苦しい))は△22P (前回より12P上昇。)
  - (2) 今後の事業方針(見通しDI(拡大-縮小・転廃業))は13P (前回より10P上昇。)
  - (3) 経営上の問題点(上位3項目)は、「販売価格の下落」(27%)、「売上不振」(25%)、「資金調達」(11%)
- 以上